

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	「高千穂通り花みちプロジェクト」を通した美しい宮崎づくり
助成事業者	(一財)日本造園修景協会宮崎県支部
代表者	支部長 黒田 博司

(目的)

当団体は、令和2年から「居心地の良く歩きたくなる高千穂通りを未来につなごう！」を合言葉に、通り沿いの企業や県民の皆様、道路管理者の県と連携しながら、多年草や一年草を織り交ぜた多様性のある「宮崎ガーデン」づくりを目指した「高千穂通り花みちプロジェクト」に取り組んでおります。

活動にあたっては、季節毎の植栽イベントのほか、ボランティア団体（花みちcrew）による月2回（第2・4日曜日）のメンテナンス活動を行っており、5年目を迎えて少しずつ成長した草花は通りの風景になじんできており、通りを歩く皆様から評価の声もいただいております。

現在、高千穂通りでは、県や宮崎市が中心となって、道路空間の再編に向けた整備や「ほこみち」制度の導入などが進められようとしており、これまでの駅から中心市街地に向かって『通るだけの道』から『居場所となるような道』に生まれ変わろうとしております。

本プロジェクトとしましても、この新しい動きと連携しながら、皆さんが通りの公共花壇を「まちの庭」として身近に感じていただけるようこれまでの取組みをさらに発展させ、花・みどりで様々な方々をつなぐ活動に取り組んでまいります。

(概要)

今年度は、宮崎市制100周年記念事業最大のイベントである「SMILE MIYAZAKI 100年祭」の開催に向けて、宮崎市と連携しながら11月10日（日）に市民参加型の植栽イベントを実施した。植栽イベントでは、宮崎市で生産された花苗を植えるとともに、活動としてのはじめての挑戦となるイベント参加者や花みちcrew手作りによるサイネージ（看板）を設置した。

また、例年と同様に、月2回のメンテナンス活動や、9月や2月などの植栽活動、花壇観察会等を通じて、多年草や一年草を織り交ぜた多様性のある「宮崎ガーデン」づくりに取り組んだ。

さらに、宮崎県の高千穂通りの道路空間再編に向けた「ベンチ花壇ワークショップ」への参加や一部工事着工（NTT付近）に伴う既設花壇に植栽されている草花の移植作業を活動の中で実施した。

今後、私たちが活動している花壇がすべてリニューアルされる予定であるが、高千穂通りが『通るだけの道』から『居場所となるような道』に生まれ変われるようこれまでの活動の経験を活かしながら、協力していければと考えている。

